

2026年度

愛知淑徳大学 大学院

博士前期課程（4月入学2期）入学試験

専門分野筆記試験問題

（文化創造研究科）

国文学専修

<一般入試>

2026年2月18日（水）実施

10:45～12:15

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけない。
- 2 解答用紙には、受験番号および氏名を正しく記入すること。
- 3 試験中に問題文の誤字、脱字等に気づいた場合は、手をあげて試験監督者に知らせること。
- 4 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。

研究科共通問題と、出願した専修の問題の両方に解答すること。

<研究科共通問題>

本研究科のディプロマ・ポリシーには、「現代社会が要請する科学技術と精神文化との融合のあり方について、文化創造と言う観点から様々な課題の解決に向けた提案を行い得る人材を育てる」とありますが、あなたの研究課題はどのような点で現代社会に貢献できると考えますか。共通問題解答用紙に横書きで、おおよそ400～600字で記述しなさい。

以下の大問Ⅰ～Ⅲは、国文学専修の志願者のみを対象とした問題である。ただし、大問Ⅰは全問必答、Ⅱ～Ⅲはいずれか一方を選択し、選択した大問に含まれる各設問に答えよ。選択しなかった大問の解答欄については、空欄とするこ
と。

Ⅰ（必答問題）

第一問 次の空欄1～3に当てはまる語句を答えよ。

『日本書紀』と『古事記』にはそれぞれ一〇〇首以上の歌が含まれており、それらは記紀歌謡と呼ばれる。大半は物語中で登場人物が詠んだとされる歌だが、宮廷や民間のさまざまな行事で人々に歌われた歌謡が物語に組み込まれたとみられるものが多い。そうした行事の一つに、男女が山や市などに集い、歌の掛け合いで求愛する 1 がある。

『万葉集』は日本に現存する最古の歌集で、全二〇巻に約四五〇〇首を収めている。おおそ全体にわたり、雑歌・相聞・ 2 の三大部立と呼ばれる分類や、その下での年代順による配列などがみられるものの、巻ごとに体裁が異なる部分も大きい。そのため、『万葉集』は全体として計画的に編集されたわけではなく、段階的に形成されていったものと考えられる。集中に最も多くの作歌を残した 3 は、最終段階に深く関わったらしい。

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

おなじ帝、狩いとかしこく好みたまひけり。陸奥の国、磐手いはての郡より奉れる御鷹、世になくかしこかりければ、になうおぼして御手鷹いはてにしたまひけり。名をば磐手となむつけたまへりける。それを、かの道に心ありて、あづかり仕うまつりける大納言にあづけたまへりける。夜昼、これをあづかりて、とりかひたまふほどに、いかがしたまひけむ、そらしたまひてけり。（中略）いかがせむとて、内にまありて、御鷹のうせたるよし奏したまふ時に、

帝、ものものたまはず。聞こしめしつけぬにやあらむとて、また奏したまふに、おもてをのみまもらせたまうて、ものものたまはず。たいだいしとおぼしたるなりけりと、われにもあらぬ心地して、かしこまりていますかりて、「この御鷹の、もとむるに、侍らぬことを、いかさまにかしはべらむ。などかおほせごともたまはぬ」と奏したまふ時に、帝、
 B いはで思ふぞいふにまされる
 とのたまひけり。

問一 傍線部A「この御鷹の、もとむるに、侍らぬことを、いかさまにかしはべらむ。などかおほせごともたまはぬ」と奏したまふ時に」を、主語などを補いつつ、わかりやすい現代語に訳せ。

問二 傍線部B「いはで思ふぞいふにまされる」に用いられている和歌の修辞法を答えよ。

問三 次の説明文を参考に、この文章が収録されている作品名を答えよ。

平安中期、天曆（九四七〜九五七）ごろ成立の歌物語。作者は未詳。和歌を主とし、恋愛・伝説などを主題とする一七〇余編の説話（物語）を収録。なお、そのうちの一つである「葦刈」は、能『芦刈』や谷崎潤一郎『蘆刈』といった作品の題材となったことで知られる。

第三問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

匈きょう奴ど来きたり請ヒ和ニ親ヲ、天子、下ス議ヲ。大行王恢、燕人也。数しばしば為リ辺吏、習ス知ル胡事。
 議シテ曰ハク、「漢与ニ匈奴和親、率スルモ不レ過シテ数ニ歲、即復倍約。不如勿許、興兵擊之。」

問一 傍線部Aを「ゆるすことなく、へいをおこしてこれをうつにしかず」と読むときの返り点と送り仮名を付け。

問二 傍線部Aをわかりやすい現代語に訳せ。

II (選択問題)

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

ありあけ

ながい疾患のいたみから、

その顔はくもの巣だらけとなり、

腰からしたは影のやうに消えてしまひ、

腰からうへには藪が生え、

手が腐れ

身体からだいちめんがじつにめちやくちやなり、

ああ、けふも月が出で、

有明の月が空に出で、

そのぼんぼりのやうなうすらあかりで、

畸形の白犬が吠えてゐる。

しのめちかく、

さみしい道路の方で吠える犬だよ。

猫

まつくろけの猫が二疋、

なやましいよるの家根のうへで、

ぴんとたてた尻尾のさきから、

糸のやうなみかづきがかすんでゐる。

『おわあ、こんばんは』

『おわあ、こんばんは』

『おぎやあ、おぎやあ、おぎやあ』

『おわああ、ここの家の主人は病氣です』

問一 これらの詩からは、どのようなイメージを読み取ることができるか。それが具体的にいかなる表現や技法によって可能となっているのか

という点も含め、わかりやすく説明せよ。(二つの詩のうち両方を扱っても、片方のみを扱っても可)

問二 詩集『月に吠える』や小説『猫町』、また評論集『日本への回帰』の作者としても知られる、この詩の作者名を答えよ。

第二問 次に挙げる作家のうちから一人を記号で選び、作風・代表作・文学史的位置付けなどを挙げつつ、その人物がどのよう

な作家であるかを説明せよ。

- ア、森鷗外 イ、川端康成 ウ、太宰治 エ、吉屋信子 オ、江國香織

Ⅲ（選択問題）

第一問 「間接受身（迷惑受身）」について述べよ。

第二問 「方言の共通語化」について述べよ。

2026年度

愛知淑徳大学 大学院
博士前期課程（4月入学2期）入学試験
専門分野筆記試験問題

（文化創造研究科）

創作表現専修

＜一般入試＞

2026年2月18日（水）実施

10：45～12：15

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけない。
- 2 解答用紙には、受験番号および氏名を正しく記入すること。
- 3 試験中に問題文の誤字、脱字等に気づいた場合は、手をあげて試験監督者に知らせること。
- 4 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。

研究科共通問題と、出願した専修の問題の両方に解答すること。

<研究科共通問題>

本研究科のディプロマ・ポリシーには、「現代社会が要請する科学技術と精神文化との融合のあり方について、文化創造と言う観点から様々な課題の解決に向けた提案を行い得る人材を育てる」とありますが、あなたの研究課題はどのような点で現代社会に貢献できると考えますか。共通問題解答用紙に横書きで、おおよそ400～600字で記述しなさい。

創作表現専修問題

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

文学テクストとは、つねに先行する文学テクストから、なんらかの影響を受けているものだ。つまり文学テクストは、孤立して存在するものではなく、他の文学テクストとの間に関連性がある。この関連性を「間テクスト性」という。この概念を定着させたブルガリア出身の批評家ジュリア・クリステヴァによれば、あらゆるテクストは他のテクストを吸収し変形したものとされる。作品のなかで作者は、先行作品に言及したり、意識的、あるいは無意識のうちにそれについてほめかしたりするのである。

『フランケンシュタイン』は、作者が一〇代のときに書かれた作品で、題材の大部分は読書から取られていると言ってもよい。父ウィリアム・ゴドウィンの熱心な教育や、夫パーシーとともに続けた読書の経験から、メアリは豊かな文学的知識を育んだ。それゆえ、『フランケンシュタイン』には、数多くのテクストからの影響が見られ、豊かな間テクスト性が秘められている。

一八一六年、パーシー・シェリーは自伝的な詩「アラスター」を書いている。これは、理想美に憧れた詩人が、孤独な魂のなかにそれを追求め、絶望の果てに死ぬという内容で、その主題は『フランケンシュタイン』と共通している。若き詩人は、知識の泉を飲み干そうとして、自然の秘密を探り、生命の原理を発見したいという思いに捕らわれる。ここには、まさにフランケンシュタインという人物の原型が見出される。人造人間の創造という着想については、ピグマリオン伝説がもとになっていて、あくことなく知識を得ようとする科学者像には、一六世紀のファウスト伝説が影響を与えていると考えられる。

セルバンテスの『ドン・キホーテ』は、メアリが『フランケンシュタイン』の創作中に読んだ本のうちのひとつである。ドン・キホーテもフランケンシュタインとともに、同胞を助けたいという高邁な意図から出発して、空想的な願望を追い求め、社会からどんどん駆け離れて悲劇的破局へと向かってゆくという点で共通している。

『フランケンシュタイン』はもともと、バイロンがジュネーヴの別荘で怪談を作つて披露し合おうと提案したことから生まれた作品である。バイロンの発案のきっかけは、雨降りの日が続いて、一同がフランス語訳のドイツの怪談を読んでいたことだった。一八三一年版の序文によれば、そのなかの一冊に、『不実な恋人の物語』という作品が含まれていた。物語の主人公は、結婚の誓いをして花嫁を抱きしめるが、以前に捨てた恋人の青ざめた亡霊の腕のなかにいるのに気づく。この話は、フランケンシュタインが怪物に生命を与えた直後、そこから逃げ出して見た悪夢に似ている。フランケンシュタインは夢のなかでエリザベスに出会って彼女を抱きしめるが、彼の腕のなかでそれは彼の死んだ母親の遺骸に

変わる。このときフランケンシュタインは、故郷にエリザベスを置き去りにしたまま、怪物の製作に没頭していたという点で、「不実な恋人」であると言えるだろう。

メアリは一八一五年から一八一七年にわたって、ルソーの『エミール』や『新エロイズ』を何度か熟読している。ルソーは、人間は墮落する以前は無垢の状態であるという考え方を提示した。『フランケンシュタイン』では、人間社会の影響によって悪化する前の怪物は、そのような無垢の状態として描かれている。ここには、ルソーの考え方が反映されていると言えるだろう。また、『フランケンシュタイン』執筆中の一八一六年から一八一七年にわたって、メアリはジョン・ロックの『人間知性論』を熱心に読んでいた。ロックは、人間はもともと白紙状態で、経験に基づいて知識を獲得してゆくという考え方を提唱した。怪物が知識を得ながら学習してゆく過程は、まさにロックの理論を実証したと言えるだろう。

メアリは、一八一五年から翌年にわたって、リチャードソンの『クラリッサ』と『パミラ』を読んでいる。『フランケンシュタイン』を書簡体形式にするうえで、メアリはリチャードソンの作品から影響を受けた可能性がある。

フランケンシュタインがアルプス山中で怪物に出会う前の箇所には、パーシー・シェリーの「無常」の一節が引用されている。また、その風景描写は、シェリーの「モン・ブラン」やバイロンの『マンフレッド』を彷彿させる。クラヴァルトとともに旅したときを振り返るくだりでは、ワーズワスの「テインタン寺院」が引用されている。

怪物が読んだ本として挙げられているヴォルネーの『諸帝国の没落』やプルタルコス『英雄伝』、ゲーテの『若きウェルテルの悩み』、そして『失楽園』の影響があることは、言うまでもない。

(廣野由美子『批評理論入門―『フランケンシュタイン』解剖講義―』による。なお、出題の都合上、原文を一部改変した箇所がある)

〔注〕『フランケンシュタイン』……イギリスの作家メアリ・シェリー(一七九七―一八五一年)の小説。初版は一八一八年に出版され、その後、修正を加えて一八三一年に第三版(改訂版)が刊行された。

問一 任意の作品を選び、その「間テクスト性」を具体的に説明せよ(字数制限なし)。なお、作品のジャンルは問わない。

問二 「間テクスト性」とオリジナリティとはどのような関係にあるか。あなたの考えを述べよ(字数制限なし)。

2026年度

愛知淑徳大学 大学院

博士前期課程（4月入学2期）入学試験

専門分野筆記試験問題

（文化創造研究科）

建築・インテリアデザイン専修

<一般入試>

2026年2月18日（水）実施

10:45～12:15

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけない。
- 2 解答用紙には、受験番号および氏名を正しく記入すること。
- 3 試験中に問題文の誤字、脱字等に気づいた場合は、手をあげて試験監督者に知らせること。
- 4 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。

研究科共通問題と、出願した専修の問題の両方に解答すること。

<研究科共通問題>

本研究科のディプロマ・ポリシーには、「現代社会が要請する科学技術と精神文化との融合のあり方について、文化創造と言う観点から様々な課題の解決に向けた提案を行い得る人材を育てる」とありますが、あなたの研究課題はどのような点で現代社会に貢献できると考えますか。共通問題解答用紙に横書きで、おおよそ400～600字で記述しなさい。

2026年度 愛知淑徳大学 大学院 文化創造研究科

博士前期課程（4月入学2期）入学試験 専門分野筆記試験

以下の〔問題1〕～〔問題4〕は建築・インテリアデザイン専修の志願者のみを対象とした問題である。

〔問題1〕 建築環境学の日照・日射、光環境に関する文章(a)～(e)の、正誤の組み合わせとして正しいものを①～⑤からひとつ選び解答欄に記入せよ。

- (a) 照度は、光源から放射されるエネルギーを、人間の目の感度特性で重みづけした測光量で、単位は[lm]（ルーメン）である。
- (b) 冬至の日の1日当たりの直達日射量は、水平面より南向き鉛直面の方が大きい。
- (c) 昼光率は、採光性能を表す指標であり、直射日光は考慮されない。
- (d) 照度の均斉度は、室内の照度分布の均一さを評価する指標であり、その数値が1に近いほど不均一であることを示している。
- (e) 点光源から距離 r [m]離れた点Pにおける法線面照度 E_n [lx]は、点光源の光度 I [cd]を距離の2乗で除したものとして表される。これを照度の逆二乗則という。

	①	②	③	④	⑤
(a)	×	×	○	×	○
(b)	○	×	×	×	×
(c)	○	○	×	○	○
(d)	×	○	×	○	○
(e)	○	×	×	×	○

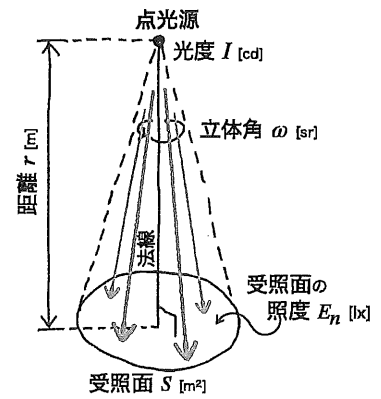
【問題2】 建築環境学の熱環境・空気環境等に関する文章(a)～(e)の、正誤の組み合わせとして正しいものを①～⑤からひとつ選び解答欄に記入せよ。

- (a) 熱放射によって、ある物体から他の物体へ伝達される熱の移動現象は、真空中においては生じない。
- (b) 熱伝導率の値が大きいほど、断熱性能が高い。
- (c) 絶対湿度が同じであれば、空気を加熱すると相対湿度は低くなる。
- (d) PMV（予測平均温冷感申告）は、温度、湿度、気流、放射温度の四つの温熱要素に加え、人の着衣量と代謝量を考慮した温熱環境評価指標のことである。
- (e) 室内の排気側に排気機、吸気側に吸気口を設置する第3種換気は、室内を負圧に保持することにより、周辺緒室への汚染物質の流失を防ぐことができるので、便所などに用いられる。

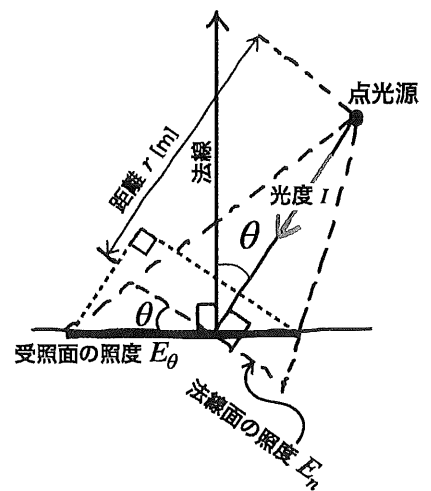
	①	②	③	④	⑤
(a)	×	○	○	×	×
(b)	○	○	○	×	○
(c)	○	×	○	○	×
(d)	×	○	×	○	○
(e)	○	○	○	○	○

[問題3] 照明計算に関する以下の問いに答えよ。解答用紙に計算途中も記し、答えは少数第1位とし単位も記すこと。

3-1) 点光源と見なせる光源から、光度 $I = 100.0$ [cd]の光が放たれている。このとき、光源から距離 $r = 2.0$ m 離れた法線面における照度 E_n [lx]を求めよ。



3-2) 点光源の光線方向に対して傾いた面の照度 E_θ [lx]を求めよ。ただし、受照面と法線受光面のなす角度 θ を 30° 、点光源の光度 I [cd]と受照面までの距離 r [m]は上記3-1)と同じとし、必要があれば $\cos 30^\circ = 0.87$ を用いよ



【問題4】 建築環境に関する以下の(a)～(c)のテーマからひとつを選び、自身の考えを400～600字で述べよ。

- (a) 建築物の資源・エネルギー使用量の多寡と、建築環境の質の確保との関係について自身の考えを述べよ。
- (b) 建築空間の光環境または温熱環境において、どのような環境の創出を目標とすべきで、それをどのような建築的・設備的方法で実現すべきかについて自身の考えを述べよ。
- (c) 建築環境（光、熱、空気、音など）の物理的または心理的な状態を把握・解析するための評価指標を3つ以上挙げ、それらに關係する物理量とともに特徴について述べよ。

以上